

作成年月日	令和元年9月17日
作成部局名	企画県民部企画財政局 財政課

## 令和元年度9月補正予算（案）

企画県民部 企画財政局 財政課



## I 補正予算編成の考え方

令和元年度当初予算は、原則通年予算で編成している。

しかしながら、南海トラフ地震や頻発する自然災害等に早期に備えるための防災・減災対策のさらなる促進のほか、近年増加している高齢運転者による交通事故の防止対策や長期化している中高年のひきこもりへの対策など、社会的解決が要請される課題への対応が急務となっている。

加えて、年度途中で確保できた国補助金など有利な財源を活用した地域の元気づくりを推進する事業など、当初予算編成後に生じた新たな財政需要等に対応していく必要があるため、補正予算を編成する。

### 1 基本方針

#### (1) 防災・減災対策の促進

日本海津波防災インフラ整備計画の前倒し実施や流域下水道の地震津波対策の推進、砂防えん堤の堆積土砂撤去などの防災・減災対策の実施

#### (2) 安全安心対策の強化

踏み間違い事故防止装置購入補助の創設やひきこもり総合支援センターの新設、交番への防犯カメラの設置などの県民生活の安全安心対策の実施

#### (3) 地域の元気づくりの推進

FOCUSスパコン利用の裾野拡大に向けた人材育成基盤の強化、播磨中央公園のサイクルステーションの整備、六甲山ビジターセンターの情報発信力の強化、県立美術館西宮颯川分館(仮称)のリニューアル整備などの地域の元気づくりの推進

### 2 有利な財源の活用

必要な事業費を確実に計上した上で、国補助金・交付金や地方交付税措置のある起債など有利な財源措置を最大限に活用する。

### 3 事業の早期着手

事業効果を早期に発現させるため、適切な準備を進め、早期の事業執行に努める。

## Ⅱ 補正予算の規模

### 1 会計別の予算規模

(単位：百万円)

区 分	既 定 予算額 a	今 回 補正額 b	財源内訳				合 計 a + b	前 年 同期比
			国庫	特定	起債	一般		
一 般 会 計	1,935,450	2,223	81	9	1,890	243	1,937,673	100.9%
流域下水道事業会計	46,120	5,710	3,666	477	1,567	0	51,830	118.0%
合 計	1,981,570	7,933	3,747	486	3,457	243	1,989,503	101.3%

※今回必要となる一般財源は、前年度決算剰余金で対応する。

### 2 施策体系別事業一覧

(単位：百万円)

事 業 名	補正額	財 源 内 訳			
		国 庫	特 定	起 債	一 般
<b>1 防災・減災対策の促進</b>	<b>7,310</b>	<b>3,666</b>	<b>477</b>	<b>3,167</b>	<b>0</b>
日本海津波防災インフラ整備計画の前倒し実施	1,300	0	0	1,300	0
流域下水道の地震津波対策の推進	5,710	3,666	477	1,567	0
砂防えん堤堆積土砂等撤去の実施	300	0	0	300	0
<b>2 安全安心対策の強化</b>	<b>238</b>	<b>24</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>214</b>
高齢運転者による交通事故防止対策	116	2	0	0	115
踏み間違い事故防止装置購入補助の創設	113	0	0	0	113
運転免許の自主返納への理解促進	3	2	0	0	2
ひきこもり総合支援の推進	10	4	0	0	6
こども家庭センター一時保護所の受入強化	15	4	0	0	11
豚コレラ等緊急発生予防対策の実施	86	14	0	0	72
受動喫煙対策の推進強化	1	1	0	0	1
交番安全対策の促進	10	0	0	0	10
<b>3 地域の元気づくりの推進</b>	<b>385</b>	<b>57</b>	<b>9</b>	<b>290</b>	<b>30</b>
FOCUS人材育成基盤の強化	13	7	1	6	0
兵庫わくわく館のリニューアル	17	0	0	0	17
播磨中央公園サイクルステーションの整備	86	43	6	37	0
六甲山ビジターセンターの機能強化	21	0	2	19	0
県立美術館西宮颯川分館(仮称)のリニューアル整備	234	0	0	222	12
コウノトリの郷公園約束のケージの整備	14	7	0	6	1
合 計	7,933	3,747	486	3,457	243
一般会計	2,223	81	9	1,890	243
流域下水道事業会計	5,710	3,666	477	1,567	0

※ 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

### 3 性質別事業一覧

(単位：百万円)

区 分	補正額	会計別内訳		財 源 内 訳			
		一般会計	流域下水道 事業会計	国 庫	特 定	起 債	一 般
行政経費	241	241	0	22	2	0	217
投資的経費	7,692	1,982	5,710	3,725	484	3,457	26
投資補助事業	5,827	117	5,710	3,725	482	1,616	4
公共事業	5,710	0	5,710	3,666	477	1,567	0
その他補助事業	117	117	0	59	5	49	4
投資単独事業	1,865	1,865	0	0	2	1,841	22
緊急防災・減災事業	187	187	0	0	0	187	0
その他単独事業	1,678	1,678	0	0	2	1,654	22
合 計	7,933	2,223	5,710	3,747	486	3,457	243

### Ⅲ 事業の概要

**1 防災・減災対策の促進** 7,310,000千円  
 (国庫 3,666,000、特定 477,000、起債 3,167,000)

(1) 日本海津波防災インフラ整備計画の前倒し実施 1,300,000千円  
 (全額起債)

平成31年3月に策定した日本海津波防災インフラ整備計画に基づく、堤防嵩上げ等の津波対策について、事業効果の早期発現を図るため、活用期限が令和2年度までの緊急自然災害防止対策事業債を活用して前倒し実施

○ 前倒し計画 (単位：百万円)

区 分		R1	R2	R3~5	計
河川	現計画	60	300	1,340	1,700
	前倒し分	1,300	40	△1,340	0
	前倒し後	1,360	340	0	1,700

○ 実施箇所

気比川（豊岡市）、須井川（豊岡市）、香住谷川（香美町）、長谷川（香美町）、結川（新温泉町）

(2) 流域下水道の地震津波対策の推進 5,710,000千円  
 (流域下水道事業会計：5,710,000千円 (国庫3,666,000、特定(市町負担金)477,000、起債1,567,000) )

地震・津波発生時の設備停止リスク軽減のための国庫が確保できたことから、整備計画を前倒し実施

区 分	所要額 (百万円)	施設数	主な施設	概 要
流域下水	2,820	6	武庫川上流、加古川上流 等	分配槽耐震補強、自家発電設備改築 等
下水汚泥	2,890	2	兵庫東、兵庫西	汚泥処理棟耐震補強、受泥棟耐震補強 等
計	5,710	8		

(3) 砂防えん堤堆積土砂等撤去の実施 300,000千円  
 (全額起債)

満砂状態の砂防えん堤のうち、下流に人家等の重要な施設があり、上流が山くずれ等で荒廃するなど次期出水による土砂災害の恐れが大きい箇所について緊急的に土砂等を撤去

○ 実施箇所

乙倉谷川支溪（神戸市）、岩谷川（佐用町）、長尾川（丹波市） 等10箇所

## 2 安全安心対策の強化

238,000千円

(国庫 24,100、一般 213,900)

(1) 高齢運転者による交通事故防止対策 116,000千円  
(国庫 1,500、一般 114,500)

① 踏み間違い事故防止装置購入補助の創設 113,000千円  
(全額一般)

高齢運転者のペダル踏み間違いによる死亡事故等の防止を図るため、国の対策が制度化されるまでの間の緊急対策として、踏み間違い事故防止装置を購入する経費に対する県単独補助制度を創設

- 対象者 75歳以上の高齢運転者
- 対象車両 本人常用の自家用車(1人1台まで・本人以外の名義車両も対象)
- 補助対象装置

急発進抑制タイプ	障害物感知タイプ
アクセルを急激に踏み込んだ場合にセンサーが異常検知し急発進を抑制	一定範囲内の障害物を超音波センサーが感知し、アクセルの急激な踏込で加速抑制

※上記対象装置と同等の機能を装備した新車・中古車を購入した場合も補助対象

区 分		購入時	後付け
補助制度開始以前からの使用車両 (装置未搭載車)		—	○
補助制度開始以降購入車両	標準装備車	—	—
	オプション装備車	○	○
	オプション装備なし	—	○

※オプション装備車：標準装備されていないが、追加で装備可能な車両

※オプション装備なし：後付けでしか対応できない車両

- 補助額 22千円(定額)
- 件数 10,000台(令和元年度：5,000台、令和2年度：5,000台)
- 事業期間 令和2年度末までの2年間
- 受付開始時期 令和元年10月(予定)

② 運転免許の自主返納への理解促進

3,000千円

(国庫 1,500、一般1,500)

高齢運転者及びその家族が自動車運転の適否や運転免許の自主返納を考える機会を提供するため、交通安全教室等で活用するシミュレータとして運転能力評価機能を有する機器を新たに導入

- 導入機器 可搬型の体験型運転用シミュレータ 1台

※同年代の他者等の運転能力と比較・分析し本人に提供

- 導入時期等 10月から実施する交通安全教室及びショッピングセンター等の啓発イベント

令和元年度 約120回、延べ約3,000人  
令和2年度 約180回、延べ約5,000人  
が体験可能

(2) ひきこもり総合支援の推進

10,000千円

(国庫 3,800、一般 6,200)

① ひきこもり総合支援センターの新設

5,000千円

(国庫 2,500、一般 2,500)

壮年期及び障害等を抱える者への医療・福祉面からの相談・介入支援から就労援助へのつながりまでを一体的に行うひきこもり総合支援センターを新設

- 開設時期 令和元年12月
- 設置場所 精神保健福祉センター（神戸市中央区）
- 設置日時 週5日（火～土 9:00～17:00）
- 体制 相談支援員2名、電話相談員1名
- 業務内容
  - ・電話相談、来所相談、訪問相談
  - ・市町担当者研修会の実施
  - ・関係機関との連携・意見交換会の開催

区分		青少年ひきこもり相談 支援センター【既存・継続】	ひきこもり総合支援センター 【新設】
対象者	年齢	青少年期	全年齢(主に中高年)
	状態	社会的ひきこもり	全て 〔障害等に起因するひきこもりを含む〕
主な支援者		教育者・NPO等支援経験者	医師・保健師・PSW・心理士、 教育者・NPO等支援経験者 等
連携体制		(不登校が原因のため) 教育現場との連携が強固	教育、市町、保健所、病院、 福祉サービス事業所
設置場所		神出学園 (神戸市西区)	精神保健福祉センター (神戸市中央区)
電話相談		(078) 977-7555	(078) 262-8050



- ② ひきこもり支援のあり方検討有識者会議の新設 900千円  
(全額一般)
- 中高年のひきこもり問題における課題や市町等との役割分担も踏まえ、ひきこもり総合支援のあり方を検討する有識者会議を新設
- 実施回数 3～4回
  - 構 成 員 学識者、支援実践者、医師等
  - 検 討 内 容 ・ひきこもり問題における課題、市町等との役割分担  
・段階的なひきこもり支援対策のあり方
- ③ ひきこもり全県調査の実施 1,500千円  
(全額一般)
- 自治体等の相談窓口で相談があったケースの背景、原因、相談実態等を把握し、必要な支援方策等を検討
- 調 査 内 容 ・市町や健康福祉事務所に寄せられたひきこもりに関する相談実態  
・集約された実態を元にした専門家による分析、評価  
・分析等を元にした課題の抽出や行政支援方策の検討
- ④ ひきこもり当事者・家族の居場所設置及び市町への支援 2,600千円  
(国庫 1,300、一般 1,300)
- ひきこもり当事者等が社会とつながる第一歩として、いつでも来所して安心して過ごすことができる居場所づくりを、ひきこもり総合支援センターが中心となってモデル的に実施
- ア 居場所の設置**
- ひきこもり当事者・家族の居場所の設置
    - ・ 設 置 場 所 精神保健福祉センター
    - ・ 設 置 日 時 週5日(火～土 9:00～17:00)
  - 居場所の圏域ランチの設置
    - ・ 実 施 地 域 北播磨、阪神北地域(予定)
    - ・ 設 置 回 数 月1日
    - ・ 運 営 方 法 NPO法人等に委託
- イ 居場所等へのひきこもりサポーターの派遣**
- 派 遣 先 圏域ランチ、ひきこもり当事者宅  
※ 当事者宅への派遣は、市町の希望に応じて市町職員に同行する場合のみ
  - 回 数 20回
- ウ 圏域ネットワークの形成**
- 実 施 内 容 ブランチ圏域での連絡会議の開催(2回)
  - 対 象 者 市町職員、民生委員 等

(3) こども家庭センター一時保護所の受入強化

15,000千円

(国庫 4,300、一般 10,700)

年々増加する一時保護需要に緊急的に対応するため、建物内のレイアウトを見直し、居室を14人分確保することで、一時保護所の受入を強化

○ 定員数の増加

区 分	現行	改修後	増加分
男 児	16人	21人	+ 5人
女 児	16人	21人	+ 5人
幼 児	8人	12人	+ 4人
合 計	40人	54人	+ 14人

(4) 豚コレラ等緊急発生予防対策の実施

86,000千円

(国庫 14,000、一般 72,000)

① 発生予防対策

62,000千円

(全額一般)

県畜産協会が、豚コレラやアフリカ豚コレラ発生予防のために国庫を活用して実施する野生動物侵入防止用防護柵設置支援事業に対し、農家負担軽減のための支援制度を創設

- 事業主体 兵庫県畜産協会
- 対象経費 農場周囲への防護柵設置経費  
(電気柵、メッシュ柵、金網柵、鉄柵等)
- 対象者 県内31農場
- 補助率 国1/2 (直通)、県1/4

② まん延防止対策

24,000千円

(国庫 14,000、一般 10,000)

豚コレラ等発生時の初動体制を確保するため、防疫措置完了までに必要な防疫資材の備蓄を実施

- 備蓄場所 兵庫県広域防災センター (三木市)
- 想定規模 飼養頭数2,000頭規模の農場
- 備蓄量 防疫措置開始から概ね3日間の必要量
- 備蓄物資 県内発生時の初動防疫措置として最低限必要な物資  
(消毒薬品、殺処分・埋却関連資材等)

(5) 受動喫煙対策の推進強化

1,000千円

(国庫 500、一般 500)

令和2年4月からの改正受動喫煙防止条例の全面施行に向け、飲食店等による受動喫煙対策の取組を加速させるための低利融資制度を創設

① 低利融資制度の創設

(既定の融資枠で対応)

区 分	観光等設備貸付 (現行)	受動喫煙対策整備貸付 (新規)
対 象 者	・観光客を対象に旅館業や観光業を営む者 ・レクリエーション施設の整備を行う者 ・ <u>受動喫煙防止措置を行う者【削除】</u>	店舗内禁煙化や喫煙室整備など <u>受動喫煙防止措置を行う者</u>
貸 付 利 率	年 1.1%	年 0.9%
資 金 使 途	受動喫煙防止措置に伴う改修等に 必要な設備資金	同左
貸 付 限 度 額	1 企業 7,000 万円 1 組合 1.4 億円	1 箇所 1,000 万円
貸 付 期 間	企業：7年以内 (うち据置1年以内) 組合：10年以内 (うち据置1年以内)	7年以内 (うち据置1年以内)
開 始 時 期	—	R1.10.1 (予定)

② 低利融資制度の活用に向けた周知活動

1,000千円

(国庫 500、一般 500)

- 普及チラシの作成
- 商工会議所、業界団体等の関係団体への訪問説明
- 制度融資取扱金融機関、信用保証協会、市町等への周知

(6) 交番安全対策の促進

10,000千円

(全額一般)

交番勤務の警察官が襲撃される事件が相次いでいることから、地域の安全安心を確保するため、すべての交番への防犯カメラ設置計画を前倒し実施

① 拠点交番への防犯カメラ設置計画の前倒し

10,000千円

(全額一般)

○ 整備計画数 119箇所 (うち前倒し60箇所、令和元年度で完了)

区 分	R 1	R 2	合 計
前倒し前	59	60	119
前倒し後	119	-	119

※拠点交番とは、近接の交番を含めた活動の拠点・中心となる交番や取扱件数が多く、周囲に駅などが所在し、交通量、人通りが多い交番

② その他交番への防犯カメラの設置

(既定予算で対応)

○ 整備計画数 277箇所

R 1	R 2	合 計
138	139	277

### 3 地域の元気づくりの推進

385,000千円

(国庫 56,500、特定 8,900、起債 290,100、一般 29,500)

#### (1) FOCUS人材育成基盤の強化 13,000千円

(国庫 6,500、特定(地域創生基金) 700、起債5,800)

スーパーコンピュータ「京」の後継機「富岳」の産業利用を促進するため、AIやビッグデータ処理等に関する技術を身につけるためのトレーニング環境を神戸市と連携して強化し、民間研究人材の育成を支援

- 整備箇所 高度計算科学研究支援センター
- 整備内容
  - ・ 実習室の増設(2室)
  - ・ 通信回線の高度化
  - ・ 実習用高機能端末の導入(14台) 等

#### (2) 兵庫わくわく館のリニューアル 17,000千円

(全額一般)

ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック等のビッグイベントが開催される好機に、(一社)兵庫県特産物発信協会と協働し、「兵庫わくわく館」を店舗拡張することにより、首都圏での物産・観光情報発信力を強化

- 店舗拡張に伴う機能の追加  
[面積 78.5㎡(現行 23.1㎡)]
  - ・ 日本酒試飲スペースを設置し、兵庫五国自慢の日本酒をPR
  - ・ スイーツ販売コーナーを設置し、首都圏でも評判の高い兵庫・神戸のスイーツを販売
  - ・ 催事・観光情報スペースを設置し、年間を通じてイベント等を実施
- 首都圏物産・観光情報発信PR事業の実施
  - ・ 観光情報の提供
  - ・ 催事・観光情報スペースを活用したイベント等の実施
  - ・ 特産品プロモーションの実施
  - ・ 首都圏でのイベント等への出展

#### [参考]兵庫わくわく館の概要

- 運営者 (一社)兵庫県特産物発信協会
- 所在地 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階

(3) 播磨中央公園サイクルステーションの整備 86,000千円

(国庫 43,000、特定(地域創生基金) 6,100、起債 36,900)

県内のサイクルツーリズムの拡大のため、播磨中央公園にサイクリストの活動拠点となるサイクルステーションを整備

○ 整備内容

- ・ メインステーション  
(情報交換ブース、トイレ、更衣室、レンタサイクル(20台)等)
- ・ サブステーション (利用者向けサイクルラック、トイレ等)

(4) 六甲山ビジターセンターの機能強化 21,000千円

(特定(地域創生基金) 2,100、起債 18,900)

平成31年3月に策定された六甲山ランドデザインを踏まえ、六甲山ビジターセンターの情報発信力を強化

○ 整備内容

- ・ 六甲山の自然を体感できる映像設備の設置
- ・ プロジェクションマッピング (六甲山の四季、ハイキングコース、夜景等)のデジタルコンテンツの作成

(5) 県立美術館西宮<sup>えがわ</sup>穎川分館(仮称)のリニューアル整備 234,000千円

(起債 222,200、一般 11,800)

平成30年度末に解散した公益財団法人穎川美術館から受贈した重要文化財を含む美術品を、広く県民に公開するための展示室改修及び指定避難所として活用するため、令和2年10月開所を目指し改修を実施

○ 改修内容

区 分	内 容
美 術 館	耐震改修、空調設備導入、展示改修、トイレ改修 等
グリーンホール	屋根・外壁改修、トイレ改修

**[施設概要]**

区 分	美術館	グリーンホール
所 在 地	西宮市上甲東園1丁目10-40	
築 年 数	昭和48年築(築46年)	平成14年築(築17年)
敷地面積	346.31㎡	278.01㎡
延床面積	344.60㎡	185.80㎡
構 造	RC造 地下1階地上2階	鉄骨造 地上2階

**[主な収蔵品]**

○重要文化財「三保松原図」

伝 能阿弥筆



○重要文化財「赤楽茶碗 銘無一物」

長次郎作



**(6) コウノトリの郷公園約束のケージの整備**

14,000千円

(国庫 7,000、起債 6,300、一般 700)

昭和40年に設置されコウノトリの野生復帰のシンボルとなっている約束のケージが国の登録有形文化財として登録されることから、文化財として保存・活用するための改修を実施

○ 整備内容

- ・ フレーム腐食防止塗装
- ・ フレーム補強用斜交い鋼溶接
- ・ 金網全面張り替え

○ 特別公開の実施

11月に実施するコウノトリの郷公園20周年記念事業にあわせ、改修後、約束のケージを特別公開（予定）

**【参考】次世代医療開発センター（仮称）整備への支援**

本庶佑ノーベル賞受賞記念「次世代医療開発センター（仮称）」を整備し、本庶氏のマネジメントのもと、自己免疫疾患治療法をはじめとする革新的な創薬等の研究開発を行うため、整備費の実負担額（地方創生拠点整備交付金及び交付税措置額を除く）に対して、県・神戸市・経済界で支援

○ 整備概要

施設名称	本庶佑ノーベル賞受賞記念「次世代医療開発センター（仮称）」
整備主体	(公財)神戸医療産業都市推進機構
場 所	「クリエイティブラボ神戸(CLIK)」内
整備内容	共同研究ラボ、共用研究機器、共用動物実験施設の整備等
全体事業費	13億円（うち地方創生拠点整備交付金 6.5億円）
開所時期	令和2年秋頃

- 県の支援 整備が本格化する令和2年度において財政支援を実施

## 【参考】ふるさとひょうご寄附金の状況

ふるさと納税の趣旨は、本来、経済的な見返りを求めない寄附である。

本県では、寄附による地域づくりへの参画を促進するため、兵庫の強みを活かした地域創生を推進し、活力ある地域社会を構築するためのプロジェクトを事業化し実施している。

### (1) 令和元年度 of 取組

339,300千円の寄附を目標に、20のプロジェクトを事業化。(単位：千円)

事業名	事業内容	目標額	実績(8月末)
兵庫県立大学応援プロジェクト	学生の活動支援に加え、教育の充実や学術研究の奨励等を支援	3,000	1,120
初代県庁復元等応援プロジェクト	県政150周年を契機として、県民が兵庫県の成り立ちや歴史を振り返ることができる初代県庁復元施設等の整備を推進	100,000	5
いなみ野学園多世代交流応援プロジェクト	いなみ野学園の休園日の学舎を活用し、各世代がともに学び、交流できるイベント等を開催	2,000	0
ひょうご被災地応援プロジェクト	被災地における災害救援ボランティア活動を積極的に支援	11,000	1,055
芸術文化センター応援プロジェクト	障害のある方、高齢者、妊婦の方など誰もが快適に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、使いやすい設備に改善	2,000	583
「子ども食堂」応援プロジェクト	NPO法人や地域住民グループが実施する「子ども食堂」運営事業を県内全域へ拡大するため、立上げ経費を助成	3,000	2,503
ひょうご孫ギフトプロジェクト	一定額以上の寄附者に県内の企業による子育てギフトを贈呈するとともに、県内の私立保育所、幼稚園等に県産木材玩具を寄贈	20,000	0
児童養護施設や里親の下で育つ子ども応援プロジェクト	社会的養護の下で育った子どもたちの将来が、生まれ育った環境で左右されないよう、自立や夢を実現するための努力を応援	3,000	2,255
障害者アスリートへの応援プロジェクト	夢と希望を与えてくれる障害者アスリートを支援するため、練習等に使用する競技用具を購入	1,500	100
小児筋電義手バンクへの応援プロジェクト	上肢を欠損した子どもの発育に有用な筋電義手等の普及を図り、補装具費支給(特例補装具)への移行を推進	3,500	1,327
ユニバーサルカフェ開設応援プロジェクト	ユニバーサル社会づくりの県民の主体的な取組を促進するため、障害者、高齢者等が交流を行う居場所づくりを支援	3,000	1,000
子犬子猫の飼い主探し等応援プロジェクト	子犬子猫の保育等にボランティアの協力を得ながら犬猫の譲渡を推進するとともに動物愛護センターの愛護館の蔵書拡充を推進	10,000	18
明石公園新たな桜の名所づくりプロジェクト	明石城築城400周年を記念して、明石公園の補助競技場に多様なサクラを植樹し、明石公園に新たな桜の名所を整備	4,000	650



事業名	事業内容	目標額	実績(8月末)
県立学校環境充実応援プロジェクト	教育の一層の活発化を図るため、学校毎に募集項目を設定し、寄附を募ることにより、各校の特色ある教育活動や教育環境を充実	100,000	21,115
県立美術館・博物館等応援プロジェクト	県立美術館・博物館等が施設の特色に応じた募集項目を設定し、身近に芸術文化に親しむことができる取組を推進	25,000	376
コウノトリ野生復帰プロジェクト	野生復帰に向けたDNA検査や放鳥拠点調査・整備、馴化(環境適応)訓練などを実施	3,000	60
神戸マラソンの開催応援プロジェクト	魅力的で質の高い大会づくりを目的としたコース改善、国際エリートランナーの招聘等を実施	20,000	20,100
神戸ルミナリエの開催応援プロジェクト	震災復興に向け、人々の希望と勇気をもたらすイメージシンボルの役割を担う神戸ルミナリエの開催を応援	300	100
「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録推進プロジェクト	「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録に向け、世界遺産登録推進協議会が実施する学術調査等に要する経費を負担	20,000	0
暴力団事務所撤去応援プロジェクト	県民の生活の平穏を確保するため、暴力団追放兵庫県民センターが住民の委託を受けて行う暴力団事務所撤去訴訟等を支援	5,000	1,130
使途指定のない寄附		—	1,140
合計		339,300	54,637

## (2) 平成30年度の実績

○ 19のプロジェクトのもと、177,816千円の寄附を受け入れ (単位：千円)

事業名	寄附受入額	うち個人分(ふるさと納税)	うち法人分
県立学校環境充実応援プロジェクト	101,813	95,661	6,152
神戸マラソンの開催応援プロジェクト	17,700	17,400	300
「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録推進プロジェクト	7,030	6,030	1,000
その他16事業	51,273	25,468	25,805
合計	177,816	144,559	33,257

○ 平成30年度ふるさと納税額144,559千円に対し、令和元年度県民税控除額は5,793,227千円となっており、5,648,668千円の流出(対前年度比32.6%増)

(単位：千円)

区分	平成30年度	平成29年度	増減	
ふるさと納税額 a	144,559	119,138	+25,421	+21.3%
翌年度県民税控除額 b	5,793,227	4,378,824	+1,414,403	+32.3%
流出額 b-a	5,648,668	4,259,686	+1,388,982	+32.6%
(参考)47都道府県の流出額計	108,263,281	80,856,188	+27,407,093	+33.9%